

基本情報



【年齢】
25歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府枚方市
【前職】
不動産会社の企画
民泊施設運営
【活動時期】
R2.8～

協力隊に応募したきっかけ

前職の不動産会社で大阪の都市部や地方での空き家のリノベーション事業に従事し、空き家を活用した民泊施設の設計デザインに携わっていました。空き家活用のフィールドを地方に移したいと思っていたさなか、コロナ禍を追い風に移住に踏み切りました。空き家問題が顕著にあらわれている地方で、自分の可能性にチャレンジしたい、自治体とタッグを組んでさらに大きい規模でチャレンジしていきたい、と思い地域おこし協力隊という制度を利用しました。

今後の抱負・任期後の目標

包括的に多可町や北播磨の認知度の向上を推し進めていきたいと考えています。空き家の活用事例のモデルケースを増やしていき、若い人が地方でチャレンジすることに対してのハードルが低い町づくりをしていきたいと思っています。また、地域おこし協力隊がおらず、連携が図ってこれなかった、定住自立圏である、北播磨エリアの自治体ともより広域的な視点で連携体制の構築を進めていきたいと思う。

活動内容

●空き家バンク運営

令和3年度から多可町より空き家バンク運営業務を完全成功報酬にて受託運営。空き家バンク新規物件登録件数と空き家バンク成約件数にKPIをおき、新規物件登録数は前年度比120%、成約件数は前年度比160%を達成。移住者数も約100人となっている。今年度も成約登録共に前年度比150%を見込んでいる。



●産官学連携空き家リノベーション事業

関西学院大学の建築学部・総合政策学部と連携し、空き家の利活用事業を始動。新たな取り組みとして、多可町と地元工務店協力のもと、物件実測、設計提案、建物改修を共に実施し、R5年5月より民泊施設としての運営を予定。



●SMOUTを活用した地域おこし協力隊募集活動

SMOUTを活用し、潜在的な移住希望者に向けて発信。イベント実施の際にはSMOUTからの参加者が毎月増加傾向にある。全国ランキングでは723市町村（2021年12月末時点）中15位、県別ランキングでは豊岡市に続いて兵庫県2位となった。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域商社RAKU HP）<https://raku-taka.com/>
（多可町定住サイト「タカ、と。」）<https://teiju.takacho.net/>
（SMOUT）<https://smout.jp/areas/1361>